



## いわき事業所の 化学物質管理とリスクコミュニケーション

株式会社クレハ  
生産本部 いわき事業所

環境 安全部 環境 保全グループリーダー柳原 裕



### 本日のご説明内容

#### 会社 および 生産本部いわき事業所概要

1. レスポンシブル・ケア(RC)体制と方針
2. 化学物質管理
3. リスクコミュニケーション



## 会社概要

株式会社クレハ

2005年10月1日 呉羽化学工業株式会社から  
株式会社クレハへ

「エクセレントカンパニー」を目指して

創 立 :1944年(昭和19年)6月

資本金 :124億6000万円

売上高 :1,462億円 (連結)

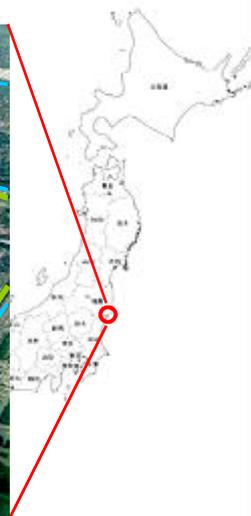
主要製品 機能樹脂, 炭素製品, 無機薬品, 有機薬品,  
医薬品, 農薬, 農材, 食品包装材, 家庭用品

従業員数 3,776人(2007年10月末現在)

KUREHA

## いわき事業所の概要

株式会社クレハ

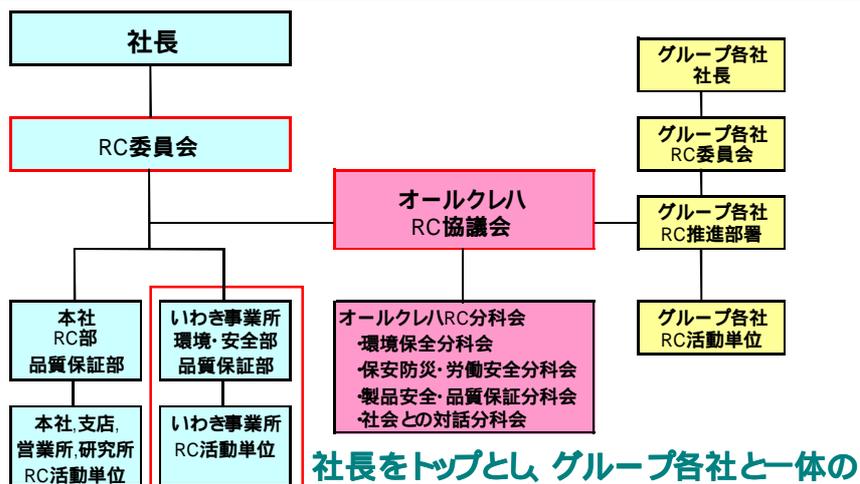


KUREHA

## 会社 および 生産本部いわき事業所概要

1. レスポンシブル・ケア(RC)体制と方針
2. 化学物質管理
3. リスクコミュニケーション

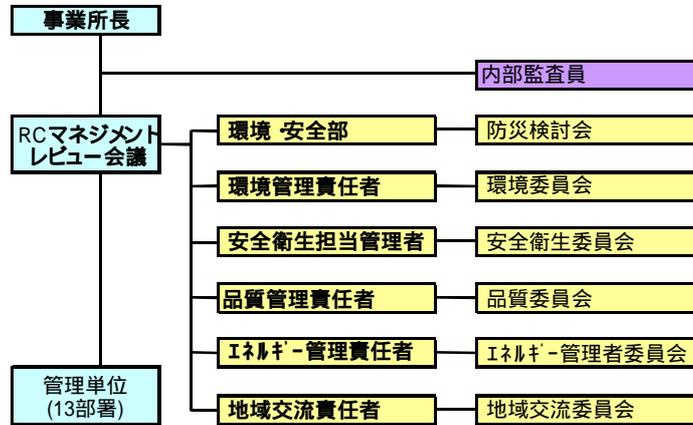
## クレハグループのRC体制



社長をトップとし、グループ各社と一体の体制でRC活動を推進しています。

## いわき事業所のRC推進体制

株式会社クレハ



事業所長をトップに、各責任者で構成するRCマネジメントレビュー会議のもとでRC活動を推進しています。

KUREHA  
7

## いわき事業所の運営方針

株式会社クレハ

### 1. RC活動の質の強化と成果

### 2. 生産技術力の向上

(世界トップレベルの生産拠点の構築)

**RC活動を最重要方針と位置づけて運営  
(経営の基軸に据える)**

事業所長と全従業員のRCに関する直接対話を実施



KUREHA  
7

環境保全(ISO-14001)  
労働安全衛生(OHSAS-18001)  
品質保証(ISO-9001)  
エネルギー管理



**統合運用**

統合することは

環境保全 - 労働安全衛生の共通課題である

**「化学物質の管理」に有効**

KUREHA  
7

会社 および

生産本部いわき事業所概要

1. レスポンシブル・ケア(RC)体制と方針
2. **化学物質管理**
3. リスクコミュニケーション

KUREHA  
7

## 化学物質管理の対象物質

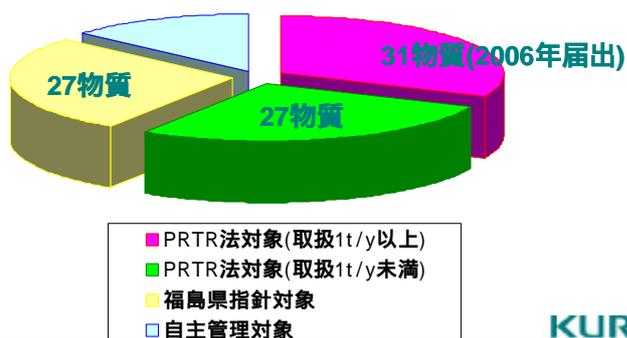
株式会社クレハ

いわき事業所で使用 管理している化学物質は約 100種類

PRTR法対象物質

福島県化学物質適正管理指針対象物質

法対象外物質を自主管理対象物質として全て管理



KUREHA

## 「環境リスク」評価方法

株式会社クレハ

評価点数=(環境影響毎に定める係数) × (排出量)

評価点の大小で環境への影響度を評価

改善対策検討の優先順位決定に活用

<環境影響毎に定める係数>

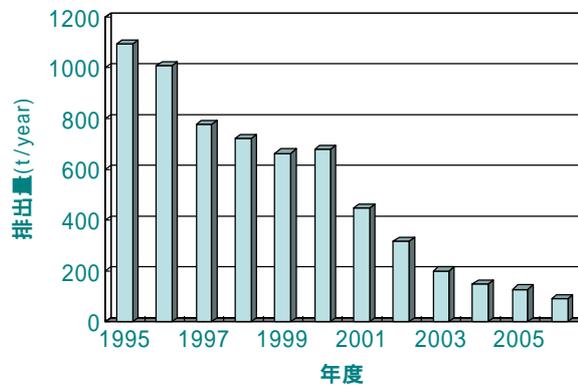
化学物質の毒性(主に慢性毒性)を考慮

エコケミストリー研究会提案の毒性重み付け係数の考え方を参考

KUREHA

## 管理の結果～PRTR物質排出量推移～

株式会社クレハ



リスク評価も導入して管理してきた結果

2005年度のPRTR法対象物質排出量を

初年度(1995年度)比で約1/10に削減

KUREHA

## もう一つの化学物質管理

株式会社クレハ

### 臭気管理

臭気センサー  
12台 ○



KUREHA

## 排出量削減対策の実施

株式会社クレハ

プラント	臭気発生源	対策	実施年度
クロベン	蒸留排ガス	活性炭による吸着回収	2003
医薬品	排水処理工程	臭気物質の不使用	2004
炭素繊維	焼成炉排ガス(12基分)	排ガス洗浄/燃焼(8基)	2004~
塩ビ		排ガス燃焼	2001
PPS		密閉化/排ガス燃焼	2003
プラ			実施年度
クロ	排ガス	洗浄	2005
炭素	(12基分)	排	2004~
塩ビ	(8基分)	排	2006
		燃焼設備	2006
PPS	排ガス	密閉化/開放無作業化	2007
		酸化処理による無臭化	2007
	排水処理設備	密閉化/排ガス燃焼	2007



クレハ式活性炭吸着回収設備(GASTAK)



燃焼設備

## 本日のご説明内容

株式会社クレハ

### 会社 および 生産本部いわき事業所概要

1. レスポンシブル・ケア(RC)体制と方針
2. 化学物質管理
3. リスクコミュニケーション

KUREHA

## RC地域対話集会の開催

株式会社クレハ

### ～開催の背景～

1. 創業から地域社会との共生がテーマ
2. 1995年 RCの実施を社会に宣言
3. RCの課題に、自主的 積極的に取り組み
4. RCの取り組み内容と実績を地域住民の皆様へご理解頂き、RCへのご意見を頂くことが必要と考えた
5. その考えから「RC地域対話集会」を開催(2003年度から毎年実施)



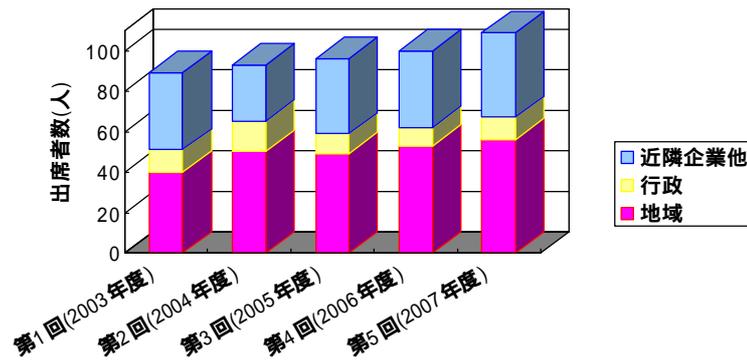
2007年11月14日 第5回目開催

KUREHA

## RC地域対話集会出席者の構成

株式会社クレハ

RC地域対話集会出席者数と構成



地域の皆様との対話を主目的

⇒ 地域の皆様を主体にご案内

地域および行政の方々が約60%

KUREHA

## 双方向コミュニケーション紙としての役割

株式会社クレハ

### 発行の背景

2002年8月1日創刊

1. 工場情報を地域の皆様にお届けする
2. 皆様からの貴重なご意見をいただき、工場運営に活かす



特集号(表面)

### 双方向コミュニケーション紙

発行月 : 1, 5, 9月

配布数 3,540戸

第9号(

最新号 第16号(2007年9月発行)

KUREHA  
7



## その他のコミュニケーション

株式会社クレハ

### 地域環境懇話会

地域の有識者の方々との少人数によるコミュニケーション

現在まで6回開催

### 県リスクミ推進事業への協力

県主催リスクミセミナー等での事例紹介

### 参加工場見学受入

小中学校、各種団体等、年間約1,500人の見学者受入  
従業員家族への工場見学も実施

(今年度で4回目・3月実施予定)



第16回化学物質と環境円卓会議



KUREHA  
7

## その他のコミュニケーション

株式会社クレハ

### <保安 防災> いわき事業所総合防災訓練視察

いわき事業所は危険物、高圧ガスを取り扱う工場

保安防災は最も  
グループ会社



行政機関・周辺 10地区の区長さんに見学して頂き、  
終了後には皆様から貴重なご意見を頂きました。

KUREHA

## その他のコミュニケーション

株式会社クレハ



近隣の清掃ボランティア



地域行事への参加



近隣小学校等への理科授業支援

KUREHA

いわき駅前再開発事業  
「LATOV」オープニングセレモニー

株式会社クレハ

いわき産業創造館オープニングイベント

「いわき産業創造フェア2007」が10/25～10/27に開催され、  
「クレハ」も出店し、おかげさまで大好評を得ることが出来ました！！  
三日間の来場者数 約1万2千人！



マナブ、アソブ、ラトブ！



KUREHA  
7

いわき事業所にとってのリスコミ

株式会社クレハ

～いわき事業所にとっての  
リスクコミュニケーションとは～

関係者相互のコミュニケーションによる理解 信頼の向上  
地域 行政 事業者による安心作り

日頃から地域とコミュニケーションを図り  
信頼感を高める事が重要と考えています。

KUREHA  
7

## ～ 今後の取り組み～

株式会社クレハ

- 地域の皆様の要望
- リスクの極小化と報告
- 対話の継続



「RC地域対話集会」を更に継続・発展させ、  
企業の社会的責任を果たしていきます。

KUREHA

株式会社クレハ

**KUREHA**  
御清聴ありがとうございました。  
KUREHA CORPORATION

URL <http://www.kureha.co.jp/>

KUREHA